

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年9月11日 NO.19

9月8日（月）の全校朝会より

今から800年ほど前の鎌倉時代の僧侶、道元という人が言ったことばです。

はきものをそろえると、心もそろろう。心がそろうと、はきものもそろろう。
ぬぐときそろえておくと、はくとき心がみだれない。
だれかがみだしていたら、だまってそろえてあげる。
そうすれば、世界中の人の心もそろうでしょう。

校長先生がみんなの靴箱を見に行ったら、一人一人の靴がきちんとそろえてあり、上履きのかかとのところに名前も書いてあって、すばらしいなと思いました。きれいにそろえてあると、見ている気持ちがいいですね。全学年の人が、きちんとそろえて入れるように気をつけていることと思います。

あるえらい先生が、人として大事なことの基本は「挨拶がきちんとできること」「ハイ、という返事がきちんとできること」そして「はきものをそろえること」の3つと話されていました。国立七小の子ども達は、挨拶、返事、はきものを

きちんとそろえられることが自慢できるように、これからも頑張っていきたいと思います。

その後、国立てくてくにも載っている、ハイイロチョッキリのお話をしました。



わくわくドキドキ農園の片付け

瑞々しいキュウリをポキッと折っては、校長先生に味噌をつけてもらい、取れたてを食べた初夏の日。真っ赤なお日様色のトマトをお口にほおぼり、その甘さに感動した日。真っ黄色に茹で上がったトウモロコシを、放課後にみんなで一緒に食べた夏休み前の日。美味しい夏野菜をたっぷり味わい、賑やかに楽しんだ畑も、今ではうそのように静かになっています。

そこで、子ども達は、お世話になった様々な人々や、大収穫できた豊かな大地に感謝しながら、後片付けの作業を行うことにしました。いろいろな野菜が大きく成長するまで支えた支柱を外したり、夏草が生い茂る畑の周りをきれいに掃除したりと大忙しです。今回は、4年生の有志にこの作業をしてもらいましたが、皆、どの子も一生懸命に作業をしている姿には、とても感心しました。ご苦労様。どうもありがとう。

